

## 令和4年度 第2回鴨川市図書館協議会 会議録

1. 日 時                    令和4年12月9日（金）  
開会：午後3時            閉会：午後4時10分
2. 場 所                    鴨川市立図書館 集会室
3. 出席者  
    【委員】                高木修平委員            （学校教育関係者）  
                              吉野理恵委員            （学校教育関係者）  
                              山口健一委員            （学校教育関係者）  
                              高橋和夫委員            （社会教育関係者）  
                              三沢裕美委員            （家庭教育の向上に資する者）  
                              渡邊隆委員              （学識経験者）  
    【事務局】              石川丈夫課長、蒔苗茂館長、洲永美奈子主査
4. 欠席者                  0名
5. 傍聴人                  0名
6. 会議概要                別紙のとおり

## 1. 開 会

(事務局 洲永)

本会議議題まで、事務局洲永が進行。

この会議は附属機関設置条例に基づき開催される。全委員の出席があり、本会議が成立することを報告し、開会を宣言。

## 2. 会長あいさつ

渡邊隆会長より挨拶

## 3. 教育長あいさつ

鈴木希彦教育長欠席のため、石川丈夫課長より代理挨拶。

## 4. 議題

渡邊会長、議長となり会議を進行。

渡邊議長より、会議録の署名人に高木修平委員を指名。

(渡邊議長)

議題1 令和4年度鴨川市立図書館事業中間報告について、事務局に説明を求めた。

(事務局 洲永)

会議資料に基づき説明をした。

(渡邊議長)

議題1について、委員に質疑及び意見を求めた。

(高橋委員)

「世界の絵本を楽しもう」という行事について、外国語の講師を見つけるのが大変かと思うが、どのように見つけるのか。

(事務局 蒔苗)

今回は最近南房総市に越してきたドイツの方がいると、偶然人づてに聞いた。そのドイツ人のクラウドさんに絵本の読み聞かせをして欲しいと依頼すると快く引き受けてくれた。クラウドさんによると、近くにスペインの方やフランスの方もいるとの事。今後繋がっていったら良いと思っている。

(高橋委員)

コロナ禍となって行事もやりにくい場合が多いと思うが、今年新たに人数制限等で工夫した事はどんなことであったか。

(事務局 洲永)

本のリサイクル市などは人数制限の他、時間も制限し入れ替え制で実施し、スムーズに対応ができています。お話会もカーペットに枠を引き、その枠の中に一家族が入って聞いてもらうなどの工夫をしています。更に今年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金でアクリル板の設置ができた。勉強スペースも改善され、多くの学生が学習に来てくれています。

(吉野委員)

私自身子どもがいるため、育児休暇中にもお話会に参加していた。ブックスタート時に絵本をもらい、貸出カードを作成し、「おひざにだっこのおはなし会」に参加し、絵本を借りて行くという良い流れができていて、素晴らしいと感じている。そこでブックスタートでの引換率が71.9%という事が少し残念に感じている。周知についてはどのように実施しているのか。

(事務局 洲永)

福祉課、健康推進課での自宅訪問の際、ブックスタート事業の説明と絵本の引換券を配布してもらっている。その後引換券を持って図書館へ来て絵本を渡す事になるので、そこで忘れてしまうケースが多いのかもしれない。引換を促す記事を年1、2回「広報かもがわ」に掲載してもらっているが、今後増やしてもらうよう工夫していく。

(山口委員)

図書館の事だけでなく、いろいろな面で周知は難しい。コロナで減ってしまった利用者を元に戻すためには、もっともっと上乘せした周知が必要なのだと思う。

(事務局 蒔苗)

今でも日曜日やってるかの確認の電話がきたりする。開館してから30年経過してもまだ日曜日に開館していることを知らない人がいる。全ての人に知ってもらうということがいかに難しいかを感じている。

(渡邊議長)

議題1 令和4年度鴨川市立図書館事業中間報告について、承認する委員に挙手を求めた。全委員の挙手を認め、議題1について承認された。

(渡邊議長)

議題2 令和5年度鴨川市立図書館事業計画(案)について、事務局に説明を求めた。

(事務局 蒔苗)

会議資料に基づき説明をした。

(渡邊議長)

議題2について、委員に質疑及び意見を求めた。

(高橋委員)

図書館システムの更新について、利用者の読書履歴を活用して、どんな本が多く読まれているかの紹介をしたらどうか。また、どの分野の利用が多い、どの分野の所蔵が少ないなど、統計を参考にしていると思うので、蔵書計画に沿った予算確保に努めて欲しい。

(事務局 蒔苗)

利用者のプライバシーに関係してくるので、読書履歴の活用は難しいと思う。しかし、利用される方の男女の別や年齢層など、また、どの分野の利用が多いかなどは統計として参考になっている。次年度の予算については、生涯学習課長に頑張ってもらって予算獲得に努めてもらう。

(渡邊議長)

おもいで帳は5,000冊作成という案になっているが、どの年齢層を対象とするのか。

(事務局 洲永)

全利用者対象と考えている。当初の見積りに 5,000 冊作成を含めているだけで、不足分は予算要望をしていく予定である。

(事務局 蒔苗)

利用駐車場のラインが見えづらいとの指摘があり、素人なので上手くはできないが描いてみた。また、図書館裏の道路に木の枝が伸びているとの意見があり、自宅からチェーンソーを持ってきて伐採した。委員の皆様にも何かお気づきの事があれば、市民目線でお知らせいただけると有難い。

(渡邊議長)

業者に頼む事無く、蒔苗館長自ら駐車場のラインを引いたり、木の枝をチェーンソーで伐採するなど驚いた。委員の皆さんも図書館の一利用者となって、図書館の利用改善を考えていただけたらと思う。

(高木委員)

全国的なデータでみると、近年の小・中学生の読書率が少しずつ上がっているという統計がでているが、高校生は伸び悩んでいる様子。手軽にスマホで情報を得たり、電子書籍を読んだりという現状が悪いとは思わないが、読書とは腰を据えてゆっくりした時間の中でするものだと思う。今の若い人がスマホで映画を1.5倍速で見る人が増えているという事を聞くが、映画を普通の時間で観る事やゆっくり読書をする事は時間がもったいないと感じているのか、私たちとの感覚のギャップは大きくなっているように思う。読む子はとても読んでいるので、読書する時間が大切という事は理解していると思いたい。

また、長狭地区の子どもは、図書館まで来る事が難しい。配本など学校や公民館まで本を持ってきてもらう事も有難いが、沢山の本の中から自分で選んで読む事はとても重要な事だと思う。市のバスを利用するなどして、距離的なことをもう少し改善できたら良いのではと思っているがいかがか。

(事務局 蒔苗)

可能性はゼロではないと思う。私どもも市内どの地域に住んでいても、平等なサービスを考えている。高木委員のご意見を受け、前向きに考えていきたい。

(渡邊議長)

図書館行事はボランティアの力なくてはできないとの説明があったが、三沢委員より図書館ボランティアの立場で何かご意見はないか。

(三沢委員)

図書館の行事に参加していて、コロナ禍においてどうしたら安心して参加していただけるか、職員とボランティアが一体となって考えて実施している。こうして資料を見ていると、見えている部分だけで無く、沢山の工夫があることに気づく。ボランティアを通して、子ども達からも沢山の事を学んでいるので、これからも図書館をバックアップしていく気持ちで頑張りたい。

(渡邊議長)

議題 2 令和5年度鴨川市立図書館事業計画(案)について、承認する委員に挙手を求めた。全委員の挙手を認め、議題 2 について、承認された。

(渡邊議長)

以上で議題は終了。議事の進行は事務局にお返しし、議長を退かせていただく。  
渡邊議長、自席へ。

(事務局 洲永)

議事が終了したので、進行を引き継ぐ。

## 5.その他

(事務局 洲永)

資料とは別に配布した行事チラシや新刊案内等の説明をした。

## 6.閉会

(事務局 洲永)

以上をもって、令和4年度第2回鴨川市図書館協議会の閉会を宣言。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条3項の規定により、会議録の確認をいたしました。

令和5年3月1日

会議録署名人

鴨川市図書館協議会委員 高木 修平

---